



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 (株)神鋼環境ソリューション
 コード番号 6299 URL <http://www.kobelco-eco.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大濱 敬織

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 芳野 真弘

TEL 078-232-8018

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	75,581	19.7	4,442	126.3	4,481	121.3	2,876	64.6
2020年3月期第3四半期	63,126	12.4	1,962	182.9	2,025	152.6	1,747	339.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,006百万円 (66.8%) 2020年3月期第3四半期 1,802百万円 (264.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	178.48	
2020年3月期第3四半期	108.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	89,211	31,645	35.2
2020年3月期	84,694	29,365	34.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 31,428百万円 2020年3月期 29,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		45.00	45.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	12.2	4,800	37.0	4,800	36.0	3,000	9.9	186.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	16,120,000 株	2020年3月期	16,120,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	4,314 株	2020年3月期	4,210 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	16,115,772 株	2020年3月期3Q	16,115,852 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は添付資料3ページをご覧ください。また、今後、業績に重大な影響を及ぼす事象が確認された場合は速やかに開示いたします。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響により、業種ごとの景況感に開きはあるものの、全体として厳しい状況が継続しております。当四半期に入り、各種政策の効果により個人消費等一部に持ち直しの動きがみられたものの、足元においては、新型コロナウイルス感染症が急速に拡大しており、全般的に予断を許さない状況にあります。

当社グループにおきまして、本年度は、2016年度から2020年度までの5か年中期経営計画の最終年度であり、その基本方針である「①主力事業のリノベーション」、「②海外展開・新規事業での着実なビジネスの拡大」、「③神戸製鋼グループとの連携強化」に沿って、諸施策を着実に実施しております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、当社グループにおいて、現時点では、新型コロナウイルス感染症拡大による景気悪化に起因する顕著な影響はみられておりません。

受注・受託高は、前年同期と同水準の79,374百万円となりました。受注・受託残高は、前年度下期において水処理関連事業での大型案件の受注・受託の影響もあり、前年同期に比べ11,150百万円増(5.1%増)の229,938百万円となりました。売上高は、全てのセグメントにおいて増収となり、前年同期に比べ12,455百万円増加し、75,581百万円となりました。

利益面では、営業利益は前年同期に比べ2,479百万円増加し4,442百万円となり、経常利益は前年同期に比べ2,456百万円増加し4,481百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失の計上や法人税等を差引いた結果、前年同期に比べ1,128百万円増加し2,876百万円となりました。

なお、当社グループの事業形態による特徴として、第4四半期連結会計期間に完成する工事の割合が大きく、売上高の計上が偏る傾向にありますが、概ね計画通りに推移しております。継続して、新型コロナウイルス感染症拡大による影響に留意する必要があると考えております。

報告セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(水処理関連事業)

水処理関連事業につきましては、売上高は、前年同期に比べ、5,860百万円増加し28,828百万円となりました。また、経常利益は増収及び収益性改善等により前年同期に比べ2,118百万円改善し、1,384百万円となりました。

(廃棄物処理関連事業)

廃棄物処理関連事業につきましては、売上高は、前年同期に比べ5,964百万円増加し39,154百万円となりました。増収となりましたものの、一部国内外大型案件の採算悪化等があり、経常利益は前年同期に比べ151百万円増にとどまり2,381百万円となりました。

(化学・食品機械関連事業)

化学・食品機械関連事業につきましては、売上高は、前年同期に比べ560百万円増の7,506百万円となりました。また、経常利益は増収等により前年同期に比べ135百万円増の1,101百万円となりました。

なお、前年度まで経営成績における数値指標を「受注高」としておりましたが、第1四半期連結会計期間より「受注・受託高」とし、これまでの受注高に、長期運転維持管理案件の受託高を加えた数値へ変更しており、前年同期比においても同数値と比較しております。また、前年度期末の長期運転維持管理案件の受託残高145,586百万円は、当年度期首の受注・受託残高に含めております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は89,211百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,517百万円増加しました。流動資産は66,087百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,730百万円増加しました。主な要因は、仕掛品の増加2,938百万円によるものです。固定資産は23,124百万円となり、前連結会計年度末に比べ213百万円減少しました。

負債合計は57,566百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,236百万円増加しました。流動負債は46,355百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,347百万円増加しました。主な要因は、電子記録債務の増加4,213百万円、買掛金の減少2,668百万円、未払費用の減少1,790百万円によるものです。固定負債は11,210百万円となり、前連結会計年度末に比べ889百万円増加しました。

純資産合計は31,645百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,280百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益2,876百万円の計上による増加、配当金725百万円の支払いによる減少によるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、35.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月8日に公表しました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の業績予想を下記の通り修正します。

2021年3月期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	110,000	4,000	4,000	2,500	155.13
今回修正予想(B)	110,000	4,800	4,800	3,000	186.15
増減額(B-A)	0	800	800	500	—
増減率(%)	0.0	20.0	20.0	20.0	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	97,998	3,504	3,529	2,728	169.33

(前回発表予想からの修正理由)

第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動経費の発生が期初予算の想定に比べ減少しており、通期においても同様の傾向と見込まれること、また、一部の案件においてコストダウンが見込まれること等から、全ての利益項目が前回発表予想を上回る見通しとなりました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による2021年3月期連結業績に与える影響は、限定的であると想定しております。継続して、新型コロナウイルス感染症拡大による影響に留意する必要があると考えており、今後の経営環境及び業績動向等を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には適時公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,311	5,057
受取手形及び売掛金	43,071	42,859
電子記録債権	1,111	1,308
商品及び製品	84	121
仕掛品	2,848	5,787
原材料及び貯蔵品	968	1,064
短期貸付金	4,392	4,195
その他	3,672	5,782
貸倒引当金	△103	△90
流動資産合計	61,356	66,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,463	16,362
減価償却累計額	△9,938	△10,209
建物及び構築物 (純額)	6,524	6,152
機械装置及び運搬具	13,284	12,613
減価償却累計額	△10,011	△9,573
機械装置及び運搬具 (純額)	3,272	3,039
土地	3,516	3,475
建設仮勘定	250	512
その他	1,864	1,889
減価償却累計額	△1,409	△1,461
その他 (純額)	455	428
有形固定資産合計	14,019	13,609
無形固定資産	1,113	1,194
投資その他の資産		
投資有価証券	577	818
繰延税金資産	5,230	4,992
退職給付に係る資産	1,277	1,485
その他	1,249	1,154
貸倒引当金	△129	△129
投資その他の資産合計	8,205	8,320
固定資産合計	23,337	23,124
資産合計	84,694	89,211

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,626	10,957
電子記録債務	9,126	13,339
短期借入金	6,167	9,084
未払法人税等	2,294	784
未払費用	3,129	1,339
前受金	3,290	4,622
製品保証引当金	1,712	1,535
工事損失引当金	2,673	2,602
その他	2,986	2,089
流動負債合計	45,008	46,355
固定負債		
長期借入金	2,549	2,302
リース債務	57	32
退職給付に係る負債	7,149	8,310
資産除去債務	502	504
その他	61	60
固定負債合計	10,320	11,210
負債合計	55,329	57,566
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,020	6,020
資本剰余金	3,332	3,332
利益剰余金	20,190	22,340
自己株式	△6	△6
株主資本合計	29,536	31,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100	154
繰延ヘッジ損益	11	△2
為替換算調整勘定	28	13
退職給付に係る調整累計額	△516	△423
その他の包括利益累計額合計	△375	△257
非支配株主持分	203	216
純資産合計	29,365	31,645
負債純資産合計	84,694	89,211

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	63,126	75,581
売上原価	53,060	63,157
売上総利益	10,065	12,424
販売費及び一般管理費	8,102	7,982
営業利益	1,962	4,442
営業外収益		
受取利息	9	10
受取配当金	93	58
投資有価証券売却益	1	12
貸倒引当金戻入額	21	12
分析料収入	2	2
その他	23	33
営業外収益合計	151	130
営業外費用		
支払利息	34	49
固定資産除却損	4	29
その他	50	12
営業外費用合計	89	90
経常利益	2,025	4,481
特別利益		
契約解約益	649	-
特別利益合計	649	-
特別損失		
固定資産除却損	-	241
特別損失合計	-	241
税金等調整前四半期純利益	2,675	4,240
法人税、住民税及び事業税	767	1,179
法人税等調整額	142	171
法人税等合計	910	1,351
四半期純利益	1,764	2,889
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,747	2,876

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,764	2,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	54
繰延ヘッジ損益	△1	△13
為替換算調整勘定	△5	△15
退職給付に係る調整額	76	92
その他の包括利益合計	38	117
四半期包括利益	1,802	3,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,786	2,994
非支配株主に係る四半期包括利益	16	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1、 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水処理 関連事業	廃棄物処理 関連事業	化学・ 食品機械 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,962	33,189	6,925	63,076	49	63,126
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	-	20	26	△26	-
計	22,967	33,189	6,945	63,102	23	63,126
セグメント損益	△734	2,230	966	2,462	△437	2,025

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額49百万円は、報告セグメントに帰属しない売上高であります。

2. セグメント損益の調整額△437百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用及び営業外収益等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1、 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水処理 関連事業	廃棄物処理 関連事業	化学・ 食品機械 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,820	39,154	7,504	75,479	102	75,581
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	-	1	9	△9	-
計	28,828	39,154	7,506	75,489	92	75,581
セグメント利益	1,384	2,381	1,101	4,866	△385	4,481

- (注) 1. 外部顧客への売上高の調整額102百万円は、報告セグメントに帰属しない売上高であります。
2. セグメント利益の調整額△385百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用及び営業外費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

[決算発表 補足資料]

1. 連結経営成績

(単位：億円)

	2019年度 第3四半期累計①	2020年度 第3四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
売上高	631	755	+124	+19.7%
営業利益	19.6	44.4	+24.7	+126.3%
経常利益	20.2	44.8	+24.5	+121.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	17.4	28.7	+11.2	+64.6%
1株当たり 四半期純利益（単位：円銭）	108.46	178.48	+70.0	+64.6%

2. 連結受注・受託状況（長期運転維持管理業務の受託高を含む）

(単位：億円)

	2019年度 第3四半期累計①	2020年度 第3四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
水処理関連事業	276	330	+53	+19.2%
廃棄物処理関連事業	426	379	△46	△11.0%
化学・食品機械関連事業	84	83	△0	△0.9%
消去・調整額	0	0	+0	+321.1%
受注・受託高合計	787	793	+6	+0.8%
受注・受託残高	2,187	2,299	+111	+5.1%

3. 連結セグメント情報

1) 売上高

(単位：億円)

	2019年度 第3四半期累計①	2020年度 第3四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
水処理関連事業	229	288	+58	+25.5%
廃棄物処理関連事業	331	391	+59	+18.0%
化学・食品機械関連事業	69	75	+5	+8.1%
調整額	0	0	+0	+300.0%
合計	631	755	+124	+19.7%

2) 経常利益

(単位：億円)

	2019年度 第3四半期累計①	2020年度 第3四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
水処理関連事業	△7.3	13.8	+21.1	-
廃棄物処理関連事業	22.3	23.8	+1.5	+6.8%
化学・食品機械関連事業	9.6	11.0	+1.3	+14.0%
調整額	△4.3	△3.8	+0.5	-
合計	20.2	44.8	+24.5	+121.3%

4. 連結財政状態

(単位：億円)

	2019年度 ①	2020年度 第3四半期②	前期比増減	
			②-①	増減率
総 資 産	846	892	+45	+5.3%
負 債	553	575	+22	+4.0%
純 資 産	293	316	+22	+7.8%
自 己 資 本 比 率	34.4%	35.2%	+0.8pt	-
外 部 負 債 残 高 ※ 1	87	113	+26	+30.6%
1 株 当 た り 純 資 産 (単 位 : 円 銭)	1,809.48	1,950.19	+140.71	+7.8%

※1 外部負債残高は借入金から構成されており、リース債務を含めておりません。

5. 2021年3月期の連結業績予想

(単位：億円)

	2019年度 実績 ①	2020年度 前回発表予想 (20年5月8日公表)	2020年度 今回発表予想 (本日公表) ②	前期比増減	
				②-①	増減率
売 上 高	979	1,100	1,100	+120	+12.2%
営 業 利 益	35.0	40.0	48.0	+12.9	+37.0%
経 常 利 益	35.2	40.0	48.0	+12.7	+36.0%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	27.2	25.0	30.0	+2.7	+9.9%

※2021年3月期の連結業績予想は、2020年5月8日に公表しました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の業績予想から一部変更しております。なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。